



©Yuki Asada

地域の誇りをかたちに

地域住民が主体となって特産品を生み出し、地域の活性化を図る「一村一品運動」。大分県発祥のこの取り組みは、海を越え、中央アジアのキルギスでも展開されている。

JICAは2007年から、一村一品運動を通じて、キルギス・イシククリ州の女性グループの経済活動を支援してきた。首都ビシュケクにある土産店には、フェルトのポーチや置物、ジャムや蜂蜜など、女性グループのメンバーが作った多様な商品が並んでいる。思わず手に取ってみたいくなるほど、どれもデザインやパッケージがおしゃれなのが印象的だ。

「特に女性に人気なのが石けんです」と一村一品プロジェクトに携わるマラット・カラタエブさんは話す。地域に自生す

るハーブなどを使った石けんは全10種類。中でも、珍しいと評判を呼んでいるのが、ヤギのミルクを使った石けんだ。ヤギのミルクには肌を健康な状態に導く成分が含まれており、美白効果もあるという。この他、シーバクソンというキルギスで広く見掛ける植物のオイルを使ったハンドクリームも、店の売れ筋商品だ。

女性グループのメンバーは、日本人専門家や青年海外協力隊から品質管理やデザインのノウハウなどを徹底的に学び、「商品力」を向上させてきた。「一村一品運動をイシククリ州だけでなく全国に発展させて、キルギスの良さを多くの人に知ってもらいたいです」とカラタエブさん。キルギスを訪れた際には、ぜひ一つお土産にいかが？



一村一品プロジェクトの商品を販売している首都ビシュケクの土産店（撮影：竹田武史）

★キルギス産の石けんとハンドクリームを各1人ずつにプレゼント！→詳細は38ページへ

★商品の最新情報はFacebookでご確認を
<https://ja-jp.facebook.com/One-Village-One-Product-Issyk-kul-236219876529319/>

